



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成20年11月11日

環境大臣 齊藤 鉄夫 殿

全日本空輸株式会社
代表取締役社長

山元 峯生

全日本空輸株式会社は、安全を経営の基盤とする航空運送事業者としての社会的責任を踏まえ、世界の「環境リーディング・エアライン」として、持続可能な社会の形成に積極的に貢献するため、以下の取組をすすめてまいります。

1 新機材の導入促進などにより、地球温暖化の防止に向けて積極的に取り組みます。

- ◆ ボーイング787型機、次世代リージョナルジェットMRJなど新世代機材を、世界で最初に導入するなど、環境保全新技術を世界に先駆けて取り入れます。
- ◆ 航空業界で世界初となるCO₂「総排出量目標」を定め、2008年度～2011年度の国内線CO₂総排出量を年平均470万トン以内に抑制します。
- ◆ 国内線・国際線の有償輸送トンキロあたりCO₂排出量を、2011年度において2006年度対比で10%（1990年度対比約25%）削減します。
- ◆ 全事業所計で、原単位あたり年1%のエネルギーを削減します。
- ◆ 環境負荷の低い運航・飛行訓練方式や地上車両・施設を積極的に導入します。

2 資源循環型社会の実現に貢献します。

- ◆ 機内で使用する雑誌類の50%をANAグループ内での「クローズド・リサイクル」にまわすなど、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の更なる推進に努めます。
- ◆ 営業用紙消費量を、2011年度において2006年度対比で5%（約500トン）削減します。

3 「人と地球を考える」をテーマに、「地球環境を大切にする心の輪」を多くの人に広げます。

- ◆ ANAの特徴を生かした国内50空港周辺での「『私の青空』森作り」事業や、産学一体型プロジェクト「チーム美らサンゴ」（サンゴ生態系再生活動）への支援など、地域社会での環境社会貢献活動へ積極的に参画します。
- ◆ 「『私の青空』国際環境絵本コンクール」を主催するなど、次世代を担う子供たちに「環境、自然、生き物、資源を大切にする心」を伝える活動に取り組みます。
- ◆ エコ・フライト e-flight を始めとした、「お客様とともに地球環境を考える」取り組みを拡充します。

全日本空輸株式会社は、上記取組の進捗状況と結果について、環境省へ報告するとともに、CSRレポートで定期的に公表します。

